

松代高校

P T A 会報

発行責任者
長野県松代高等学校
P T A
大平 芳春
長野市松代町西条 4065
TEL 026-278-2044
FAX 026-261-2120

挨拶

P T A 会長 大平 芳春



皆様はじめまして。僭越ながら本年度松代高等学校 P T A 会長を務めさせていただきますことになりました大平芳春と申します。至らない点も多々あるかと思いますが、保護者また職員の皆さまにご協力をいただきながら一年間頑張っていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。平素皆様方におかれましては、P T A 活動にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

現・3 年生は、新型コロナウイルスにより、高校入学当初からいろいろな行動が制限された中、主に松濤祭もその 1 つだったでしょう。それでも試行

錯誤しながら、それぞれが学校生活をより良いものにしてしようと考えてきた事と思います。

今はほとんどの子供がスマホを保有しており、他者とのコミュニケーション能力の低下が懸念されています。勉強ももちろん大切ですが、友達や先生、地域の方とのふれあいは感情を育てる最大の学びだと思っております。人の痛みがわかる、人と一緒に喜び合える事は自分自身を成長させます。これから進学や就職と社会人になっていき、今まで以上に多くの人や広い世界と関わっていくことでしょう。人とのつながりや社会人としての必要な事を学び、進むべき道を考えられるようにと願っております。

この 5 月 8 日に政府が新型コロナウイルスを 5 類に移行し、行動制限も緩和されました。ここ 3 年間自粛していた事が解除され、いろいろな行事が再開されてきます。縮小気味で開催していた一大イベントの松濤祭も、本年度は 3 年前と同様に開催できる事と思います。コロナ禍の最中、P T A 役員になられた方々におかれましては、とても残念な気持ちだったと思います。

退任挨拶

〜乗りの越えて繋ぐ〜

前 P T A 会長 清水 行和



す。本年度は、この伝統ある松代高等学校の P T A 活動をより一層盛り上げていきたいと思っております。本役員と会員の皆様、先生方のご理解ご協力を重ねて申し上げまして就任の挨拶に代えさせていただきます。どうぞ一年間宜しくお願いいたします。

日頃より P T A 活動へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年令和 4 年度は開始時こそ地区総会などの中止がありましたが、その後は「松濤祭」も含めて、おおむねの行事を無事に行う事ができたかと存じます。関係する皆様方におかれましては、事前の準備から当日の運営やその後のご対応まで多大なるサポートを賜りまして本当にありがとうございました。規制と緩和の過渡期に位置した昨年度は、その都度の判断や対応の連続だったかと思えます。「皆で乗り越えた学校運営」そんな言葉がふさわしいのではないのでしょうか。卒業した生徒さんにとっては 3 年間で全て

コロナ対応であった事は大変な試練でしたが、捉え方を変えれば、オンライン授業を含めた教育の D X 推進などは、前例を踏襲できないがゆえに、コロナ苦境を逆に利用して広められた良い機会でしたし、先人には得られない新しい知見や体験になったとも言えます。そんな風に前向きに捉え、これから羽ばたく生徒さん達による真のニューノーマル、そして明るい日本を築いていくてくれる事に大いに期待しております。新年度に差し当たり、各位の判断と責任で活動を正常に戻すという国の方針においては、これもまた難しい運営になるのではないかと存じます。P T A 活動への引き続き変わらぬ皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。あらためて皆様のご協力を頂きまして無事に会長の務めを終えました事、深く御礼申し上げます。

結びに、本年度 P T A の活動に対して多大なるご尽力を賜りました、校長先生はじめ諸先生方から P T A 役員並びに保護者の皆様、生徒の皆様、本校に関わる全ての皆様方の益々のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。1 年間本当にありがとうございました。



「克己」と「中庸」

学校長 藤澤 由夏



本校の校訓が「克己」であることは保護者の皆さんもご存じかと思えます。これは、中国の思想家、孔子の教えの『克己復礼』が語源とされています。本年度の入学式においてもその意味についてお話ししています（＊その他にも、「出会いを運命とすること」「他者と助け合いながらひたむきに努力すること」「感謝・尊敬の気持ちを持ち続けること」「自分本位の幼い考え方から脱却し、全体をみて行動できる人になること」の四つの大切なこともお伝えしています。成長に期待してまいります。）

「克己」とは「自分自身の言葉や行動をコントロールし、自分を甘やかす弱い心に負けぬように行動すること」を意味するものとされていますが、これは武道の教えの一つであり、精神の有り様を示す言葉として用いられています。本校の教育の根幹にある言葉であり、生徒たちは毎日登下校の際には校門近くにある石碑に刻まれたこの二文字を目にしています。

ところで、孔子の「論語」には「中庸」ということについても書かれています。「中庸」とは、儒教の四書にあげられる書物の名前であり、また、その中で述べられる中心的な概念でもあります。「中庸」とは、一般的には「真ん中」という意味ですが、「その時々、物事を判断する上でどちらにも偏らない徳」ということも意味しており、孔子も「これが最高の徳である」と言ったことが『論語』に書かれています。単純な「中間」「平均値」「足して二で割る」というものではありません。ですから、テストの成績が学年の真ん中ぐらいだから、私は中庸の徳を備えているなどということにはならないわけですし、極端に偏った考え方にならずに、バランスのいい判断ができる人が、「中庸の徳」を兼ね備えた人だといわれます。

私は、このバランスの良さというのは大変重要なものだと考えます。スポーツや芸能の分野、学問の専門的研究に携わる人など、何か一つに秀でたものを持つ人に大きな魅力を感じる一方で、図抜けて優れたものがなくても、いろいろなことにバランスよく精通しているということにもまた、同じくらい魅力があるものだと思います。精神的な成熟というものも、幅広い知識や多様な経験によって得られていくものだと考えます。精神的に成熟したバランスのよい人となるためにも、学校諸活動の範囲内だけではなく、家庭や地域社会にも経験値を増やす活

動を求めながら、多くを学び得てほしいと考えます。

さて、本校の教職員集団は二十代前半から七十代までの年齢幅がありますが、一つの分野に圧倒的に秀でた職員、浅く幅広く様々な経験を積んできた職員、と様々です。生徒たちが、授業や諸活動の中で、様々な背景を持つ職員からこの後どのような生き方をしていくかということを見つけるヒントを得ていくことに期待したいところです。それぞれの経験を活かしながら個々が精いっぱい力を尽くし、協働して日々の教育活動に勤しんでいます。最新の感覚や考え方の理解にも努めて生徒たちに対峙することを日々心掛けてまいります。引き続き子供たちを真ん中に置いて、ご家庭と地域、学校が車座になって協力してまいります。

人生を育てていく

第三の勉強

教頭 丸山 純一



保護者の皆様には日頃から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年度から本校

にお世話になることになりました丸山と申します。どうぞよろしく願います。

このたび、学校における教育活動に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行されました。今後の学校教育活動は、単にコロナ禍以前の姿に戻るのではなく、それぞれの教育的意義を改めて捉え直した上で、真に必要なものを回復させるとともに、新しい学びの在り方へと進化を図っていくことが重要となります。

さて、「自分の人生を育てていくための勉強」とは何でしょうか。勉強と聞いて思い描くのは、おそらく二種類の勉強でしょう。一つは受験勉強や資格試験の勉強などの明確なゴールがある勉強、二つ目は趣味や習い事などの教養を身につけるための勉強です。そのどちらでもない第三の勉強が「自分の人生を育てていく勉強」なのです。それが、勉強の本質であり、私たちが身につけるべき勉強、そしてこれからの時代に求められる学びなのだと思います。

では、この第三の勉強とは何か。それは「正解のない問いに自分なりの答えを見つける勉強」です。この第三の勉強は、何を学ぶかだけでなく、どうやって学ぶかが大切です。正解のない問いに自分なりの答えを見つけるためには、常に自分はどう思うのかと考える続けることが必要です。これまで常識や定説とされてきたことに対して



「果たして本当にそうだろうか」と疑い、考えてみる批判精神が何よりも大切な学びなのです。

高校時代とは、決して楽しいことばかりではなく、むしろ悩みと迷いに満ちた時期と言えるでしょう。自分はどういう存在なのか、いかに人生を生きるのか、まさに「正解のない問い」に向き合い、自分なりの答えを見つけないければならないのです。答えを見つけないために、自己と本気で向き合うからこそ、不安や苛立ちに苦しみ悩むのです。

世の中には思うようにならないことがある、やつてもできないことがある、努力をしても必ずしも報われない、こういう人の世の在り方を正面から受け止め、優劣の物差しを越えて、自分の力を育て磨き続けることが、自分の人生を育てていくことなのではないでしょうか。

今後もさまざまな面で保護者の皆様からの御協力とともに御指導、御鞭撻をいただきながら、未来ある子どもたちのために力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 長野県松代高等学校PTA役員名簿

本会役員

役職	氏名		役職	氏名	
参 与	久保田貴律	前顧問	学校職員	山岸 勝	事務長・会計担当
顧 問	清水 行和	前会長	〃	小林 浩	校内事務局・企画文化委員
〃	藤澤 由夏	校長	〃	宮坂 淳子	校内事務局・施設委員会
会長	大平 芳春	3-2 倅羽芽	〃	宮島 秀紀	校内事務局・企画文化委員会
副会長	窪田 恵美	3-3 恵汰	〃	宮坂 恵子	校内事務局・施設委員会
〃	宮澤 洋介	2-4 暖人	〃	中澤 涼子	校内事務局・施設委員会
〃	丸山 純一	教頭	〃	松野 淳	1 学年主任・企画文化委員会
監事	兒玉 恵子	3-3 丈翔	〃	増田 靖	生活指導委員会
〃	北島 美和	2-3 凱斗	〃	横地 京子	厚生委員会・養護教諭

学級会長・副会長

(◎は学年会長 ○は副学年会長)

クラス	学級会長	生徒名	クラス	学級副会長	生徒名
1 年 1 組	○吉田 修康	龍夜	1 年 1 組	川浦みゆき	由愛
2 組	春日 美香	柚香	2 組	鴨澤 和子	圭祐
3 組	◎古川 康子	伊織	3 組	町田ひとみ	明穂
2 年 1 組	角田麻由美	六弦	2 年 1 組	星澤 裕美	拓歩
2 組	○畔上 知恵	昂大	2 組	伊東 綾	聖弥
3 組	◎後藤美栄子	穂麻玲	3 組	村垣内由美	晴人
4 組	中村 京子	琴音	4 組	藤巻 寿美	虹志
3 年 1 組	寺澤 邦子	実優	3 年 1 組	豊森 好枝	彩加
2 組	◎内山 信男	奏	2 組	高山 愛	陽菜
3 組	石川由美香	快晟	3 組	大城 貴子	香々葉
4 組	○椎名ルミ子	夏菜	4 組	山崎 由美	風紗

委員会

(◎委員長・○副委員長)

	1 学年	2 学年	3 学年
企画・文化 (宮島・小林・松野)	古川 康子(3 組)	中村 京子(4 組)	◎椎名ルミ子(4 組)
	倉嶋 雪絵(3 組)	藤巻 寿美(4 組)	○山崎 由美(4 組)
施設 (宮坂・宮坂・中澤)	春日 美香(2 組)	後藤美栄子(3 組)	◎石川由美香(3 組)
	鴨澤 和子(2 組)	村垣内由美(3 組)	○大城 貴子(3 組)
厚生 (横地)	吉田 修康(1 組)	畔上 知恵(2 組)	◎内山 信男(2 組)
		伊東 綾(2 組)	○高山 愛(2 組)
生活指導 (増田)	川浦みゆき(1 組)	角田麻由美(1 組)	◎寺澤 邦子(1 組)
		星澤 裕美(1 組)	○豊森 好枝(1 組)

『初心忘るべからず』

一学年 松野 淳

四月、百七名の生徒と共にスタートした一学年、早くも四ヶ月を過ぎようとしています。

入学後、これまでコロナ禍で開催できなかった、またはリモート開催だった様々な行事がほぼ通常通り行われました。二・三年生からの歓迎会、生徒会執行部が見本となつての校歌練習、各種検診や高校生活初めての中間テスト、交通ルールを学

学年だより

んだ安全教室や地震・火災を想定した防災訓練、性教育講座、金メダリスト小平奈緒さんの開校記念講演会、総合探究の時間を利用し、白鳥神社や清水寺等を巡った「松代ブラ散歩」。衣替えをしてからは、晴天の下で先輩の胸を思う存分借りたバレー・卓球・バドミントン等のクラスマッチ、期末テストとその

評価、一致団結して望んだ松濤祭と忙しい中にも一直線に一学期を過ごして参りました。

さて、生活面ではありますが、ご家庭のご協力によりあまり大きな問題は起こらずに一学期を終えようとしていますが、全く問題が見られない訳ではありません。本校では生活指導係を中心に身嗜みや立ち番指導をしております。入学して緊張していた四

月頃と比較して、慣れてきた現在、各々乱れが徐々に増えつつあります。この傾向は学年が上がるにつれて悪化する本校の日常生活、最大の弱点です。それは清掃の実態にも言えています。

このような学校生活の中で学習・部活動・生徒会・清掃・友人関係等々に手慣れてくるにつれて種々の問題点が指摘されてくるのが実情であります。そんな状況を打破するためにも、一年生の段階で確固とした学習・生活のサイクルを形成し、三年後の進路を見据え規則正しい生活を学校、家庭と連携しながら取り組んで行きたいと思ひます。

そのためにも生徒達には、常々「初心を忘れない」と自らに問いかけて欲しいものです。

世阿弥から学ぶ

二学年 宮島 秀紀

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動並びに二学年の取り組みに對しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

2 学年がスタートするにあたって、年度当初の学年集会において生徒たちには次のような話を学年集会でさせていただきました。

「初心忘るべからず」・・・誰もが聞いたことがあるこの言葉は、室町時代の世阿弥という能楽師によって記された書物にある言葉です。この書物では様々な「初心」について触れられて

おり、それによると「初心」には3つのステージがあるそうです。

一、「ぜひ初心忘るべからず」・・・若い時に失敗や苦勞をした結果身につけた芸は常に忘れてはならない。若い時の初心が上達する糧となる。生涯初心を忘れてはならない。

二、「時々の初心忘るべからず」・・・年齢とともに積み重ねていくものを「時々の初心」という。その時々で身につけた力をその場限りで忘れずに、しっかりと身につけておけば、年齢にあつた演技が可能になり、年月を経るごとに技量に深みは増す。

三、「老後の初心忘るべからず」・・・老後になつても初めて遭遇し、対応しなければならぬ試練がある。年を取ったからと言って「もういい」ということはない。その都度、初めて習うことを乗り越えなければならぬ。これを「老後の初心」という。

世阿弥が記したことは、あくまでも芸術論だけのことだったかもしれないが、彼のいう「初心」とは、赤子のような初々しさや無知で無垢な状態のことではなく、幼いころから鍛錬し習得した結果、その都度獲得したものを「初心」と言っています。これは人生においても十分当てはまることと言えるでしょう。新入生が入学し「先輩」になるわけですが、この松代高校に入学したときに感じていた「高校での生活や自分自身への期待」をもう一度思い出し、一年間かけてコツコツと積み重ねていたことを「松高生」として発揮してほしい。当然、二年生になった今、新たな「ステージ」に入りました。今、感じている「二年生としての自分への期待」を新たな「初心」として一年間を過ごしてほしい・・・そのような話をしました。

今年度が始まり、二か月以上経ちましたが、二年生としては落ち着いた学校生活を送ることができているようで、まずまずのスタートが切れているのではないかと思います。一方で、遅刻や欠席も、生徒によっては嵩んでいて注意してみてもいかなければならない生徒もいます。二学年はよく『中だるみの二年』と言われます。しかし、学習においては、商業科・普通科ともに各自の進路選択に応じた授業科目を受講したり、行事等においては、文化祭の実施や修学旅行、部活動や生徒会活動の引き継ぎなどもあつたりして、中核学年として松代高校を引っ張っていかねばならない一年であります。同時に、高校二年生は、思ひ悩むことが多くある学年ということを感じています。授業や成績のこと、部活動や委員会を中心になることで背負う悩みもあるでしょう。悩み考えながら、それが生徒の成長に繋がればと思ひます。担任団は学年の先生方と共に一丸となつて、一人ひとりと寄り添いながら声をかけ、指導をしていきます。保護者の皆様のご支援ご協力をお願い致します。

『未見の我』

三学年 宮坂 淳子

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。お陰様で最上級学年として本年を迎えられたことに感謝し、卒業まで担任団一致団結し精一杯力を尽くして参りたいと思います。

さて、今年の桜の開花は例年以上に早く、四月の始業式に桜の花をバックに各クラス写真撮影をすることができました。満開の花を見ながら、二度と来ないこの瞬間を感慨深く感じ、今の時にしかできないことに全力を尽くすことの意義を特に感じたのではないのでしょうか。

最後の学年がスタートする中で、今までの集大成としての成果が表れてきました。部活動においては、北信総合体育大会において、日頃の練習の成果を十分に発揮できた様子を伺い知ることができ、最上級生としての頼もしさを感じました。また、例年県大会に出場する部活動に加え、久しぶりに県大会に駒を進めた運動部や文化部があり、日々の当たり前の積み重ねを大事にしてきたことの表れではないのでしょうか。

また生徒会活動においては、執行部の生徒たちが、「三年生を送る会」に始まり、「新人生歓迎会」、「生徒総会」、各種の委員会活動に積極的に取り組むことで、生徒会活動も大いに盛り上がっています。松濤祭も原稿執筆中の六月六日現在、各係も精力的に活動し

ており、今から大変しみな状況です。卒業後の進路に向けて決断を始める生徒も増えてきています。今までの二年間で多くの人が、「自分が興味を持っていることは何だろうか。自分の強みは何か。自分はどんなことで社会に貢献できるだろうか。どんなことにやりがいを感じるだろうか・・・。」と改めて、自分自身と向き合う機会を得ました。中には、「自分は将来〇〇になることを考えているが、果たして本当にそれでいいのかわからない。」と涙さえ浮かべる生徒もいます。大いに悩み、それだけ自己を見つめている証拠でもあるでしょう。真剣に自分に問いかけ続けた結果、決断をし始めているということです。「決断」をすることは誰しも不安を抱くものですが、人生には「正解」などありません。自分自身で「決断」することで、より一層頑張り、力が発揮できることを期待しています。

年度当初の学年集会で、「未見の我」に出会える一年にしてほしいと伝えました。自分でさえ気づかない可能性や能力・才能が、日々の積み重ねや頑張りで見えてくるかもしれません。未だに見たことのない自分に出会える年にするために、『本気で頑張る一年』にしてほしいと願っています。

生徒たちが進路実現と栄えある卒業に向かって日々着実に努力していきますよう、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

生徒指導より

生徒指導主事 増田 靖

保護者の皆様には様々にご協力いただき、感謝申し上げます。

今年度よりクラス数が3クラスとなり、結果として1クラスの人数が多くなりました。狭い教室に生命力がふれる高校生を多数詰め込めば、担任による生徒ひとりひとりへのケアが手薄になるのは当然です。高校も35人以下学級、できれば30人学級にすることが、様々な課題を抱える生徒への丁寧な対応を可能にすることだと思っています。早期に欧米並みのクラス人数になってほしいと思います。

さて、現在一般的に問題になっており、今後本校でも課題となる可能性のあることを含めて、いくつかの点について述べたいと思います。

1. SNSなどのトラブル

自分をアピールしたい、などの承認欲求が強く出て犯罪行為であるにもかかわらず（迷惑動画・すしチェーン店などの動画）衆人環視のインスタなどにあげてしまい、それでトラブルになるという事例が全国的に頻発しています。未成年者や高校生の場合は刑法としては迷惑行為をやった本人が罰せられますが、被害にあった店などが民事訴訟を起こした場合は保護者にたいして損害賠償請求が行われる場合があります。

インスタなどの投稿で傷ついた、傷つけられたと問題になることがあります。

ます。友人だったはずの2人が、投稿した内容で急に嫌いになりケンカやいじめに発展した事例もあります。また、本校にはこうした事例はありませんが、闇バイトやネット詐欺も心配です。さらに、全国的に問題化しているのが、化粧品・脱毛美容の高額な契約だと言われています。悪徳商法であっても18歳成人（高校生であっても）がきちんと結んだ契約は安易な取り消しは効かず、高い代金を支払うことになります。学校では1年生5月19日に2、3年生は6月1日に警察からスクールサポーターをお招きして、SNSの危険性と上手な付き合い方の講演をしていただきました。

2. 人間関係をうまく構築できない

コロナ感染症の拡大とともに、様々な行事が中止となり人間関係を築く機会を失ってきた生徒が多数います。その結果、高校でもクラスメイトから話しかけられた時、どのように反応していいかわからない、と申し出る生徒や自分の考えを主張しすぎて、周囲の生徒が思わず引いてしまうといった状況が見られます。こうした人間関係のつまづきはいつの時代でもあったはずですが、今の生徒は人間関係を回復させる力や誰とでも仲良くやろうという気持ちが弱くなっているように感じます。さまざまな考えを持つ人がいるということを引きちゃんと理解し、「うまく人間関係を築ける」ようになってほしいと思います。特に就職を目指す高校生に求められている資質の

第1位は協調性、第2位はコミュニケーション能力、第3位は基本的な生活態度です。（東京経営者協会「平成21年度 新規高校卒業予定者の採用に関するアンケート調査」より）社会は人間関係を構築していく力を強く求めていることが、このアンケート結果からわかります。今年度の生徒指導係の目標は人間関係の構築はあいさつから、ということと「あいさつをしよう」とよびかけています。また、「時を守り、場を清め、礼を尽くす」ということを、生徒に訴えています。

3. 規則を守ることの大切さ

現在も制服の着用はなかなかきちんとは着用することができていませんが、LGBTQの生徒に対応するため、女子のスラックスやネクタイ着用を自由にしていきます。服装指導と頭髮検査やピアス指導は月に一度の「校風確立週間」で行っています。ピアスをしている生徒はその場で外させています。また、茶髪などは原則として黒染めを求めています。（お金がないから美容院に行くことができないなど、直す期間には個々の生徒の状況によって猶予期間を設けています）「服装の乱れは心の乱れ」とは昭和の時代によく言われた言葉ですが、令和のこの時代にも当てはまる場合が多くあります。急に髪が茶色になったり、ピアスをつけ始めたりした場合、ファッションでやっている以外の問題が隠れており、高校生活を頑張ろうという気持ちが薄れてくることの表れという場合があります。急に雰囲気を変化した

らご家庭でも注意をお願いします。生徒一人一人がより良い人生をおくることができるように、ご家庭と協力していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

進路指導室より

進路指導主事 小野 陽子

保護者の皆さまには、日頃より本校の進路指導にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度卒業生の進路状況は、大学9名（7・3%）、短大10名（8・1%）、専門学校56名（45・5%）、就職44名（35・8%）、公務員4名（3・3%）でした。新型コロナウイルス感染症も落ち着いてくる中、進学も就職も例年通りの日程で進みました。進路指導としては、一人ひとりが自分自身の進路を真剣に考え、希望実現のために「やるべきことをしっかりとやる」を大切にしてきましたが、生徒の頑張りがもあり全員が進路を決め卒業することができました。

進学に関しては、例年に比べて大学・短大進学者の割合が減少し、専門学校進学者の割合は増加しました。大学等の進学より、専門学校で専門的な知識をつけ資格取得を望む傾向が表れたと考えます。入試方法としては、学校推薦型選抜の指定校推薦や公募型推薦、総合型選抜、AO入試での合格が多数を占めました。学校推薦型選抜では高1から高3の1学期までの成績（学習成績の状況）が重視されま

す。また、部活動や生徒会活動など、学業以外の活動や、出席日数、授業態度など、総合的に学校の代表としてふさわしい生徒かどうかの評価されます。総合型選抜では、志願者本人が記載する活動報告書、大学入学志望理由書などが求められます。また、学校推薦型選抜や総合型選抜では、小論文やプレゼンテーション、口頭試問、共通テストなどの学力評価が必須となっています。出願や試験で「書くことがない、発表することがない、アピールすることがない」ということにならぬよう3年間の学校生活を積極的、意欲的に過ごし、対策をしっかりとすることとで合格への道が開けます。つまり、日々の努力が重要です。

就職に関しては、昨年度は多くの産業で求人数が回復しました。また、これまで高卒採用をしていなかった企業が高卒採用を始める傾向もみられました。これは、少子化の影響で大学生の数が減少していることが影響しているといえるでしょう。さらに今年度は、企業の担当の方から給料面や休日などの待遇面での見直しをしているというお話をよく聞きます。詳細は7月1日の求人票公開開始を待たないといけません、それまでにどのような仕事に就きたいのか、どのような会社に就職したいのか、希望する条件は何かなど、ある程度のイメージを準備しておくことが必要です。いづれにしても多くの企業では「人材不足」の状況であるということで求人数

が増え、求人倍率も上がり就職しやすい状況は続くと思われれます。しかし、採用選考に関しては、企業側の求める基準を満たしていることが求められます。筆記試験や適性検査、複数回の面接などにより総合的に判断されますので、しっかりと準備をすることが大事です。毎年3年の夏以降に進学から就職に変更する生徒が何人かいます。その場合、応募企業の選択や試験対策がどうしても十分に対応できず、内定をいただくまで苦労することがあります。進学か就職かの選択は将来を左右する大きなことです。どうぞ、早い時期から進路について考えてください。

社会情勢の変化が激しい中、県内の大学・短大も変化を余儀なくされています。今年4月からは飯田女子短期大学が飯田短期大学に校名変更をし、男女共学になりました。清泉女学院大学・清泉女学院短期大学は2025年4月に全学共学化とし、大学名称の変更や新学部を設置等を検討していると発表がありました。受験生を取り巻く環境が大きく変わってきています。進路指導係として、進路選択のためになるような様々な情報発信をしております。大学進学から就職まで進路希望は多様化していますが、生徒一人ひとりの進路が実現できるよう、進路指導係はじめ職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

部活動
活動実績

陸上競技

<北信総体>

山岸翔空	砲丸投	9m92	5 位	県総体出場
	円盤投	29m17	3 位	県総体出場
	やり投	24m69	15 位	
宮島永真	1500m	5 分 48 秒 27	予選敗退	
	400mH	1 分 21 秒 46	予選敗退	
	円盤投	15m88	8 位	県総体出場
高橋恵太	800m	2 分 21 秒 26		
	1500m	4 分 49 秒 16	予選敗退	
	円盤投	14m09	17 位	

<県総体>

山岸翔空	砲丸投	9m77	12 位	
	円盤投	29m23	10 位	
宮島永真	円盤投	6m01	18 位	

<北信新人>

高橋恵太	800m	2 分 15 秒 23		
	1500m	4 分 35 秒 56	予選敗退	
	円盤投	16m87	12 位	

野球

春季高校野球北信大会	2 回戦	松代 12-13	更級農(延長 13 回)	
選手権長野県大会	2 回戦	松代 11-14	松本深志	
秋季高校野球北信大会	1 回戦	松代 4-8	長野工	

バスケットボール

<北信総体>

男子	松代 87-61	屋代南	
	松代 35-79	長野吉田	
女子	松代 79-29	長野東	
	松代 61-105	学園長野	

テニス

<北信総体>

男子団体	松代 0-3	市立長野	
男子個人	小山 6-0	小澤(須坂)	
	小山 6-1	青木(長野吉田)3 回戦進出	
	小山 0-6	宮島(屋代)	
	金児 4-6	小栗(長野吉田)	
	小林 0-6	鷲尾(中野西)	
ダブルス	金児・岸田 6-3	小林・土屋(立志館)	
	小山・小林 6-3	羽生田・玉木(中野西)2 回戦進出	
	金児・岸田 1-6	高相・米沢(中野西)	
	小山・小林 1-6	中島・鷲尾(立志館)	

女子個人

	武 1-6	大倉(屋代)	
	伊藤 1-6	池田(屋代)	
	鈴木 0-6	増田(市立長野)	
ダブルス	武・鈴木 0-6	山崎・五十畑(吉田)	

バレーボール

<北信総体>

男子			
1 回戦	松代 2-0	下高井農林	
2 回戦	松代 0-2	須坂創成	
女子			
1 回戦	松代 0-2	中野立志館	
<R4 年度秋季長野市長杯 6 人制総合バレーボール大会>			
男子			
1 回戦	松代 0-2	篠ノ井	
<第 75 回全日本バレーボール高等学校選手権大会長野県北信地区予選会>			
1 回戦	松代 2-0	須坂東	
3 位決定戦	松代 0-2	長野工業	
<第 64 回須坂市長杯争奪高校男女 6 人制バレーボール大会>			
1 回戦	松代 0-2	須坂	
3 位決定戦	松代 2-0	飯山	

柔道

<北信総体>

男子団体(リーグ戦)			
1 試合目	長野俊英	1-4	勝ち
2 試合目	屋代	1-3	勝ち
3 試合目	長野日大	2-2	分け
4 試合目	長野工業	3-2	負け 準優勝
個人戦			

60kg 級	優勝	藤森友斗	
	ベスト 8	池田幸輝	
	1 回戦	吉村翔吾	

66kg 級	ベスト 8	猪俣秀	
73kg 級	3 位	小林修斗	
100kg 超級	準優勝	市川虹色	

<県総体>

男子団体			
1 試合目	上田千曲	0-5	勝ち
2 試合目	松本第一	5-0	負け
北信越決定戦	阿智	0-5	勝ち 5 位 (北信越出場)
個人			
60kg 級	1 回戦	藤森友斗	池田幸輝
66kg 級	1 回戦	猪俣秀	
73kg 級	1 回戦	小林修斗	
100kg 超級	3 位	市川虹色	(北信越出場)

<北信越大会>

男子団体

1 試合目	新潟第一	4-0	負け
個人			
100kg 超級	ベスト 16	市川虹色	

剣道

<北信総体>

男子団体(トーナメント)

1 試合目	長野西	1-2	勝ち
準々決勝	長野日大	3-0	負け
順位決定戦	飯山	0-0	代表戦 負け
7.8 位決定戦	長野高専	2-3	勝ち 7 位県大会出場

女子団体(トーナメント)

準々決勝	屋代	4-1	負け
順位決定戦	長野清泉	0-1	負け
7.8 位決定戦	須坂創成	1-1	代表戦 負け 8 位県大会出場

男子個人戦

出場	宮澤健斗	岩下一也	滝沢伊吹	飯森慎
	星澤拓歩	米澤登伊	滝沢智輝	

女子個人戦

出場	永江菜々実	戸崎あい	
----	-------	------	--

<県総体>

男子団体(トーナメント)

1 回戦	上田西	2-0	負け
------	-----	-----	----

女子団体(トーナメント)

1 回戦	篠ノ井	2-0	負け
------	-----	-----	----

<北信新人>

男子団体戦(トーナメント)

準々決勝	長野商業	2-2	代表戦 負け
順位決定戦	長野西	2-2	本数差 負け
7.8 位決定戦	須坂創成	1-1	本数差 勝ち 7 位 県大会出場

男子個人戦

出場	岩下一也	滝沢伊吹	飯森慎	星澤拓歩	米澤登伊
----	------	------	-----	------	------

女子個人戦

出場	椎名夏菜	坂詰菜	
----	------	-----	--

サッカー

<北信総体>

1 回戦	松代 0-2	長野工業	
------	--------	------	--

弓道

<北信総体>

男子団体	1 回戦	3 射中	計 6 中
	2 回戦	3 射中	
女子団体	1 回戦	4 射中	計 8 中
	2 回戦	4 射中	
男子個人	3 年生 1 名 2 年生 3 名	計 4 名	が出場
女子個人	3 年生 4 名 2 年生 4 名	計 8 名	が出場

バドミントン

<北信総体>

団体			
男子予選 1 回戦	松代 0-3	長野西	
女子予選 1 回戦	松代 3-0	長野工業高専	
	2 回戦	松代 1-3	長野商業
個人ダブルス			
男子 3 ペア出場	2 ペア予選 2 回戦進出		
女子 4 ペア出場	3 ペア本戦進出		
	1 回戦	荒井・中島	2-0 更級農業ペア
	2 回戦	荒井・中島	0-2 文化学園ペア
個人シングルス男子	6 名	出場	2 名本戦進出
女子 6 名	出場	2 名本戦進出	1 回戦 敗退

卓球

<北信総体>

団体	松代 0-3	長野高専	敗退
個人 シングルス			
	西村連	1 回戦不戦勝	2 回戦 0-3 敗退
	森山陽太	1 回戦	0-3 敗退
	新井翔生	1 回戦	0-3 敗退
	兒玉丈翔	1 回戦	0-3 敗退

美術

更級地区高等学校美術展出品 5 月 27 日~5 月 31 日

松壽祭 作品展示

書道

全国書画展覧会運営委員会主催「第 45 回ふれあい書道展」に出品

商業

長野県高等学校商業総合競技大会 珠算競技 3 位

ワープロ

長野県高等学校商業総合競技大会 6 位

簿記

長野県高等学校商業総合競技大会 4 位





新任の先生より



国語科 小橋 千景 先生

国語科の小橋千景です。去年まで大学生でした。笑いのツボが浅く、ゲラです。なんでも笑ってしまうので、大きな笑い声が聞こえてきたら私だと思います。これからも笑って楽しく生きるつもりです。よろしくお願いします。

国語科 草野 有記子 先生

長野西高校より来ました国語の草野です。里山歩きが趣味です。松代高校に来て早速、すぐ近くの舞鶴山とノロシ山に登りました。これから歴史ある松代で自らを磨き、生徒の皆さんと共に精一杯頑張りたいと思います。

地歴公民科 奥山 宗春 先生

五月十一日、3年最後の男子バレー北信大会が終わった。最後粘ったが、突破できなかった。出られなかった3年の気持ちも含めて、切ない気持ちが残った。遊牧民の自分は、新たな若々しい草原を見つけた気がする。何の力にもなれなかった男バレー副顧問

地歴公民科 島田 清矢 先生

社会科担当の島田清矢です。バイオリンを少し弾けるかもしれませんが。数か月前まで大学生という立場を濫用しナマケモノのような日々を送ってまいりましたが、心機一転、社会人として他人様に迷惑をおかけしないよう邁進する所存です。

商業科 中澤 涼子 先生

商業科の中澤涼子です。土いじりが大好きです。およそ10年前に畑に植えたサクランボが、初めてしっかりと実をつけてくれました。毎年手入れをして、根気よく待つことの大切さを教えてくれている気がします。

保健体育科 大庭 達也 先生

長野西高校から異動してきました保健体育科の大庭達也（おおばたつや）です。専門競技は陸上競技です。走る競技ではなく、投げる競技（円盤投）をずっとやっていました。よろしくお願いします。

商業科 大谷 徹 先生

商業科の大谷 徹です。教員生活も長くなり教える人の雰囲気が出てきた今日この頃……ただ、体力不足で電池切れを起こすようにもなりました。もしフラフラしていたら、優しい一声をかけてください。よろしく～^_^

英語科 飯塚 邦洋 先生

長野商業から来ました英語科の飯塚邦洋です。弓道を少々たしなんでいます。オートバイが好きで、今年でオートバイ通勤16年目に突入しました。交通事故にあわない、事故を起こさないようにしましょう！

商業科 小山 修也 先生

こんにちは。商業科 OB の小山修也（のぶや）と申します。松代町内で家業である八百屋「野菜のカネマツ」で働きながら、週5時間授業をさせて頂きます。よろしくお願いします。

事務室 西澤 和盛 先生

はじめて校用業務の仕事をしていただきます。歴史ある緑多い校舎をこれまでの経験を活かし、校内の維持管理に精一杯努めたいと思います。よろしくお願いいたします。